

街の NEW HOT WAVE

『木づかい素材』でエコロジー

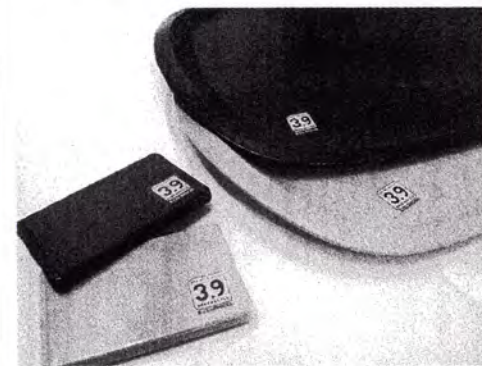
宮坂木材産業(株)が商品化



「射出成型の際にできる模様は年輪のイメージ」と宮坂さん

7日からデンマークのコペンハーゲンで行われるCOP15(国連気候変動枠組み第15回締約国会議)で注目される世界の地球温暖化対策。国内でもCO₂排出削減が呼びかけられており、県では間伐材から作った木質パウダーをバイオマスエネルギーへ転用する試みをスタートさせています。そんな中、紀州材の木質パウダーを使った樹脂製品でCO₂削減を提案する、地元のものづくり企業が現れました。

「こいつが生まれたウッドトレイ39」(1800円)は、木質パウダーを重量比20%含有。CO₂量に換算して約116%の排出抑制が見込めます。さらに樹脂より丈夫で、木より



トレイのほか、名刺入れも商品化されている

軽く長持ち、ほんのり木の香りも漂う優れもの。林野庁・木づかい運動認定の「3・9」マークが付けられており、現在、公営の事務所や県立学校などで使用されています。木質5%含有の「ウッド

トレイ55」(2500円)や木の風合いを生かした小物類もラインナップ。同社では現在、県内産木質パウダーのベレットを使った生産研究に取り組んでおり、同社の宮坂雄子さんは「材料が一般化すればコストダウンも計れる。木の国・和歌山からCO₂削減に貢献したい」と話しています。問い合わせは同社(☎073・423・4443)まで。

その企業は、和歌山市湊御殿の宮坂木材産業(株)(宮坂雅博代表取締役)。一般木材の製材から販売などを行う老舗企業です。

同社では、木材を製材すると元の約5割が廃材となる事に着目し平成15年、その再資源化を目指す

縮役)とコラボ、同社のプラスチック射出成型技術を用いることで、さまざまな形の商品量産が可能となっています。これまで、押し出し成型による木質プラスチック商品は国内例が、射出成型による商品化は初。

てプロジェクトをスタート。試行錯誤を繰り返しながら、木質パウダーとポリプロピレンを化学的に結合させた木質ベレットを原料とする、樹脂製品の商品化にたどり着いたもの。生産では海南市のサンキョー化成(株)(久保田哲司代表取

縮役)とコラボ、同社のプラスチック射出成型技術を用いることで、さまざまな形の商品量産が可能となっています。これまで、押し出し成型による木質プラスチック商品は国内例が、射出成型による商品化は初。

縮役)とコラボ、同社のプラスチック射出成型技術を用いることで、さまざまな形の商品量産が可能となっています。これまで、押し出し成型による木質プラスチック商品は国内例が、射出成型による商品化は初。